

1999年式

ボルボV70

新車の味まで? HOW MUCH?

フェラーリ・テストロッサ、ボルシェ996と企画してきたリフレッシュ企画の第3弾。ランボルギーニ・ディアブロに行く前に、ちょっと一服というか、現実的な値段のクルマを挟むのもいいんじゃないかということで、第4弾は超実用車のボルボ、一番人気のV70を取り上げている。消耗品関係のパーツを格安で交換することをテーマに、一体いくらかければV70は甦るのかを検証する。

文●半谷純一 撮影●森口信之
取材協力●スピードジャパン TEL:03-3555-8865 <http://www.speedjapan.co.jp>
カーコンビニ倶楽部 Super Shop 新小岩店 TEL:03-5670-0283

お金を
かけずに

V70の
消耗品を交換し
新車の味を
取り戻すぞ
計画

8

カーコンビニ倶楽部で直す! フェンダーの小キズを

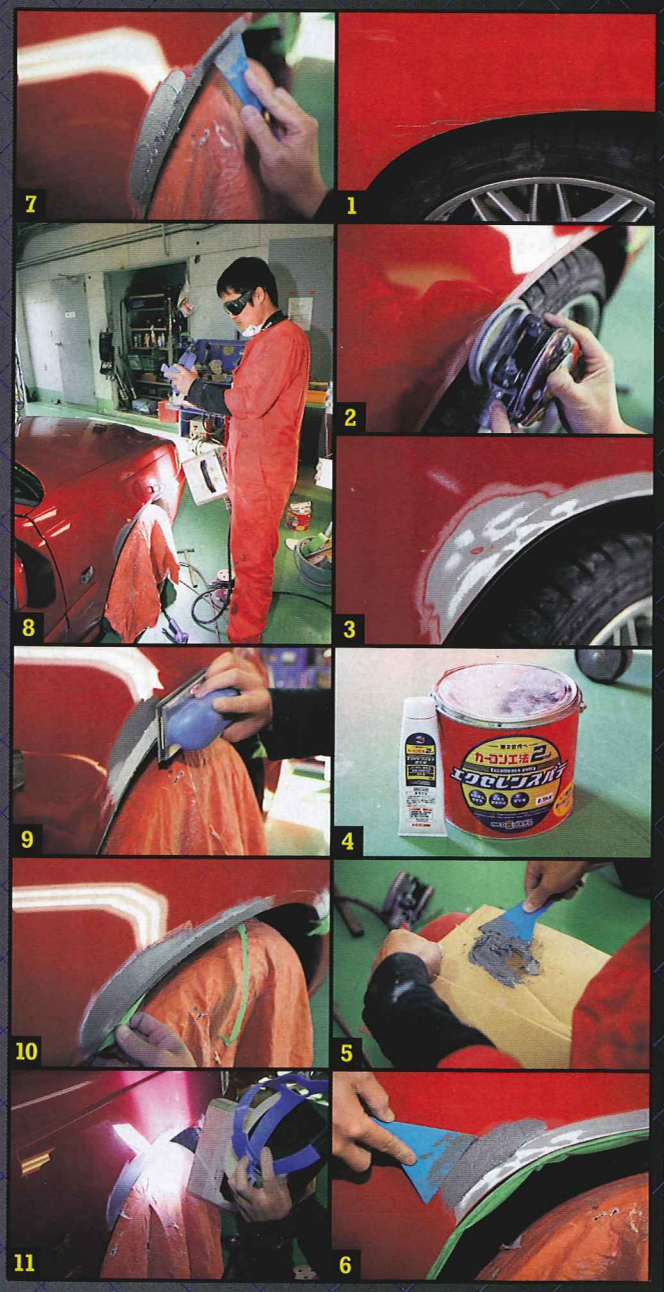
フェンダー1枚で約3時間
これなら日帰りも可能です

さて、今回は板金塗装のお話です。今まではハード面のリフレッシュばかり探り上げてきましたが、中古車には小傷が付く物。ボディのリフレッシュも避けて通るわけには行きません。

正直な話、板金塗装に関しては上を見れば際限がありません。お金に糸目を付けなければ、素人目には新車に見える状態に仕上げることも可能です。しかし、この企画の根本にある理念(というほど大げさなもんじゃありませんが)である『巧く! 安く!』という点を考慮すると、やはりここはカーコンビニ倶楽部さんをお願いするのが筋? というものでしょう。というわけで、今回実際の作業をお願いしたのはカーコンビニ倶楽部の新

小岩店。もちろん私たちがお願いしたのはフェンダー1枚だけ。つまり必要最小限の板金塗装作業です。さつそくスタッフの方にクルマを見ていただき、おおよその作業時間をうかがうと「これなら、大体3時間というところでしょうか」との回答。

塗装が色褪せしてしまった旧いクルマや、パールやキャンディ系のペイントは難易度が高いとのことでしたが、このボルボのようにパネル1枚の軽い板金と塗装の場合は大体その程度で終了。つまり、工場のスケジュールさえ開いていれば、日帰りが可能ということになるわけです。日常的にクルマを使っている人にとって、これはとてもありがたいことですね。それでは、さつそく写真で実際の作業を見て行くことにしましょう。



カーコンビニ倶楽部 Super Shop 新小岩店

〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩2-2-8
TEL:03-5670-0283
FAX:03-5670-0458





右フェンダーの小キズ直し

1 これが最初の状態。フェンダーをこすというよくあるパターンへの傷です。2 3 サンダーを使って鉄の地が出るまで削ります。地が出たらシリコンオフで脱脂します。4 これがカーコンビニ倶楽部がオリジナルで開発したパテと硬化剤。5 6 7 ここまでの使い方は普通の板金パテと同じですが…。8 ここで紫外線ライト登場。なんと見ている間にパテが硬化してしまいました。実は今回の取材で最大の興味は、どこを省略して短時間で仕上げるのか？ ですが、早さの理由はこういった待ち時間が短いため。つまり作業内容は通常の板金塗装と同じだったのです。9 10 11 12 13 14 サンドバーバーでパテを磨いて、またパテを盛って、という作業を3回繰り返します。15 パテを磨き終わったらマスキングします。16 ここでオリジナルのサフェーサー登場。17 こちらも紫外線ライトを当てるとあっという間に硬化します。18 19 20 21 22 水洗いと水磨ぎを繰り返し、下地を仕上げます。23 24 25 26 データを元にコンピュータで調色を行いますが、やはり最後の最後の微妙な色合わせに関しては職人ワザを要求されます。この新小岩店ではROCKペイントを使用していますが、塗料に関しては工場によって違うそうです。27 今度はフェンダー以外の部分をマスキングします。28 29 まず最初に赤を吹きます。30 31 それが終わったら次はクリアを吹きます。32 今度は赤外線乾燥を乾燥させます。季節にもよりますが、通常は20〜30分程度乾燥させます。33 乾燥が終わったら、まだ温かいうちに水を掛けて一気に冷やし、塗装を締めます。34 35 36 最後にコンパウンド&ポリッシャーで磨いておしまい。37 38 39 ついでにドアの傷も磨いておきました。40 これで完成。ここまでの作業時間はジャスト3時間。最初の予定通りでした。

